

高い国保料

下水道料金の値上げ



市長提案に なんでも賛成の

オール与党と対決

日本共産党

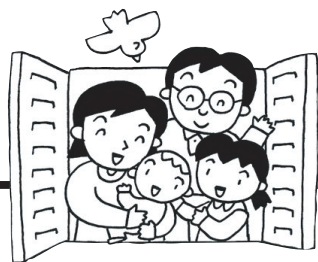
どんな時でも「市民の声で動く」議会を 日本共産党の5つの提案



日本共産党は、恵まれた阪南市の自然をまもり、市民のみなさんの福祉、教育充実の願いを実現するために頑張ります。高齢者も若い人たちも「住み続けたい」と思える活気ある阪南市をめざします。

- 1 国民健康保険料を1世帯1万円引き下げます**
(詳しくは、裏面に)
- 2 阪南市への影響深刻な、産業廃棄物処分場(和歌山市)の建設計画の撤回を求めます。**
山中川の源流に甲子園球場の4倍の産廃処分場計画。廃棄物により河川、地下水の汚染など環境破壊がもたらされます。みなさんと力を合わせて、計画撤回へ全力。
- 3 もっと使いやすいコミュニティバスに改善します**
—10月から土曜日も平日と同じ運行ダイヤになりました。—
日曜、休日も平日同様に運行本数を充実。小型バスの導入、ダイヤ改正、運行本数を増やし、市民の暮らしの足を拡充します。
- 4 住宅リフォーム助成制度で市内中小業者の仕事づくりをすすめます**
貝塚市や熊取町で始められた住宅リフォーム助成制度、太陽光発電助成。上限20万円の助成制度をつくります。
- 5 子ども医療費助成を中学3年生まで拡充します**
中学卒業までの医療費助成は全国の流れです。子育て真っ最中の世代への支援としても大切です。
阪南市は入院、通院ともに就学前までの助成にとどまっていますが、周辺自治体では堺市、貝塚市、田尻町で中学3年生まで入院助成を拡大。通院助成も改善されています。

切実な願い実現へとことん頑張ります



「ならぬものはならぬ」

「自民党と対決」
どんな問題も対案をもって頑張る共産党です

「改憲反対でぶれない共産党」

作家・僧侶 瀬戸内寂聴さん

「これから戦争に行かされるのは若い世代。その人たちを守るためにも9条は守りたい。日本共産党は戦争反対、改憲反対でぶれずにやってきた」
(しんぶん赤旗 日曜版6月9日号より)



「共産党はなんでも反対・・・」。とんでもない。この4年間、日本共産党は議会に上程された議案などの約9割に賛成してきました。しかし、市民に負担をかける国保料や下水道料金の引き上げには反対し、くらし第一で頑張って市民の声を代表してきました。なんでも賛成のオール与党では暮らしは守れません。

©日本共産党阪南市委員会は次のような見解を明らかにしました。